

IBM WebSphere Commerce V6.0

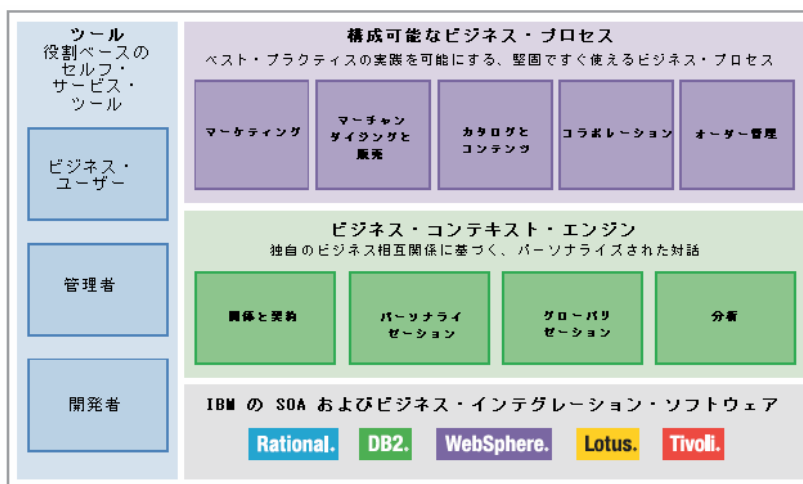
ハイライト

- B2C および B2B に関わらず、1 つのプラットフォーム上であらゆるビジネス・モデルと e-コマース・サイトをサポート
- 差別化された e-コマース・サイトのデプロイメントと管理を迅速化および簡素化すると同時に、パフォーマンス、スケーラビリティ、適応性を最大化
- 共通のビジネス・サービス群をあらゆる対話ポイント間に拡張することで、顧客やパートナーに適した、充実した環境を提供
- 直感的に使える役割ベースのツールを提供して、顧客、パートナー、従業員の生産性を向上
- マーケティング、マーチャンダイジング、カタログおよびコンテンツ管理、B2B 販売、オーダー管理などのための、すぐに使える充実した機能を提供
- チャンネル、プロセス、システムのシームレスな統合を可能にする、業界で最も完成度の高いミドルウェア・プラットフォームを提供

進化のニーズを満たす次世代

e-コマース

今や、オンライン・セールスは 2 桁成長を続け、インターネットは他チャンネルのセールスの少なくとも 20 パーセントに何らかの影響を与えています*。そのため、企業はその規模を問わず、e-コマースを戦略的優先課題として認識するようになってきています。e-コマースは今や単なるオンライン・ショッピング・カートではなく、ビジネス戦略全体の不可欠な部分であると考えられるようになりました。e-コマースとは、1 つのチャンネルで新しいビジネスを展開するだけではなく、あらゆるチャンネルでより効果的にビジネスを展開することを目的とするようになっていきます。ビジネスをより効果的に展開するということは、それが Web 上であれ、店舗であれ、コール・センターを使ってであれ、消費者や取引先の間で高まってきている、「自分が望む時間、場所、方法で、自分の条件に沿って企業と取り引きしたい」という要求に応えることです。



WebSphere Commerce を使用すると、単一の統一プラットフォーム・ベースの各種コマース施策を実装できます。

90年代のドットコム・ブームでは、e-コマース・サイトを立ち上げて爆発的に増加する商品やサービスのオンライン需要を取り込むのに急ぐあまり、多くの企業が独自の e-コマース機能を構築したり、未熟なテクノロジーに投資しました。さらに、オンライン・プレゼンスの確立を急ぐあまり、大半の企業は長期的なニーズを考えずに e-コマース・プラットフォームをデプロイしました。時間の経過とともに、e-コマースは存続可能な、収益性の高い販売チャネルであることが実証されました。さらに、恐らくそれよりも重要なことは、e-コマースには他のすべてのチャネルのビジネスを向上させる潜在的な能力があることが実証されたことです。しかし、残念ながら第一世代の e-コマース・プラットフォームが老朽化するにつれて、高度化する顧客の要求に応えることができず、企業が e-コマースの戦略的なメリットを十分に発揮できないケースが増えています。

オンライン・チャネルに対する依存度が高まり、顧客数が増え、扱うビジネス・プロセスの数が増えるにつれて、ビジネスにおける e-コマースの重要性は増大してきます。企業には、競争戦略を支えるための新しいビジネス機能が必要になってきています。

企業には、成長を支えるための高いパフォーマンスとスケーラビリティが必要です。顧客の要求を満たす、一貫性のあるユーザー・エクスペリエンスを提供する必要もあるでしょう。また、パートナーや従業員の生産性と有効性を最大化する必要もあります。さらに、継続的にコストを抑制し、運営を最適化することも要求されます。企業がこれらすべてを実現するには、あらゆる e-コマースのニーズと目標を支える力を備えた、次世代の堅固なプラットフォームが必要です。

将来のことを考えるとき、必要なのは、今そして今後のビジネスを引き続いてサポートする能力を備えたソリューションです。つまり、その業界で実績のある、市場をリードするソリューションです。現在も将来も頼りになる世界的に認められたベンダーが提供し、重要な、社内全体のニーズおよびグローバルなニーズを支えるソリューションです。次世代の e-コマースをご紹介します。

IBM WebSphere® Commerceバージョン 6.0 は、大手企業に採用され、業界をリードする e-コマース・ソリューションとして広く認められた製品であり、企業のすべての e-コマース・ニーズを満たすために開発された、将来を見据えたソリューションです。シンプルなオンライン・ストアが必要な場合も、完全に一体化したマルチチャネルの販売

ネットワークが必要な場合も、お客様は WebSphere Commerce を導入してそれぞれのビジネス・モデルとタッチ・ポイントをサポートできます。WebSphere Commerce は統一された単一の顧客対話プラットフォームです。この製品により、お客様は消費者や他企業との直接取引、チャネル・パートナーを通じた間接取引、あるいはそれらすべてを同時に行うことができます。お客様が中小規模企業、中堅企業、大規模企業、グローバル企業のいずれであっても、WebSphere Commerce はオンデマンド・ビジネスの目標達成を支援します。

WebSphere Commerce は、以下を行なう企業を支援するために生まれたソフトウェアです。

- *新規の顧客に働きかけたり、新規の市場に参入したり、既存の顧客により良いサービスを提供するために、初めて本格的な e-コマース・サイトを展開する*
- *老朽化した、あるいは能力の低い e-コマース・サイトを取り替えたり、顧客向けのサイトや e-コマースの施策全てを、1つのプラットフォーム上に整理統合する*

- マルチチャネル戦略のための基盤を作って、顧客との取引に使用するすべてのチャネルとタッチ・ポイント (Web、店舗、コール・センターなど) を統合する
- 独自の複雑な企業間 (B2B) 契約や企業関係をオンライン上で自動化する
- 下流のチャネル・パートナーに対するサービスを向上させて、これらのパートナーがその顧客によりよいサービスを提供できるようにする

上記の目標のうち、どれがお客様のビジネスに最も適しているかによって、次の 3 つの WebSphere Commerce エディションから使用するエディションを選択できます。

- **IBM WebSphere Commerce Express** バージョン 6.0: 成長途上の企業が最小限の投資で e-コマース・サイトを立ち上げたり、拡張したりするのに必要なコア機能を提供します。これらの機能はすべて、ニーズの拡大に応じてさらに高度な機能をサポートする、強固なプラットフォーム上で提供されます。

- **IBM WebSphere Commerce Professional** バージョン 6.0: パーソナライズされたクロス・チャネルのショッピング・エクスペリエンスを実現する、堅固なオンライン販売環境を提供します。この製品のインフラストラクチャーは、Web、キオスク、POS (Point-of-Sale)、コール・センターといった複数の販売チャネルとタッチ・ポイントをサポートおよび統合します。
- **IBM WebSphere Commerce Enterprise** バージョン 6.0: 大規模・大容量の企業間 (B2B) e-コマース・サイトや高度な消費者向け (B2C) e-コマース・サイトを運営するための、グローバル・ビジネスに対応する強力な柔軟なソリューションを、統一されたプラットフォーム上に構築することを可能にします。複数サイト、複雑な直接/間接的なビジネス・モデル、契約の合意、動的な交渉、役割ベースのメンバー管理などがサポートされます。

3 つのエディションはいずれも 100 パーセント Java™ 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE) テクノロジー・ベースの同じアーキテクチャー上に構築されます。あらかじめ統合されたインフラストラクチャーと、すぐに使える豊富な機能を利用することにより、市場に出すまでの時間を短縮できます。

また、WebSphere Commerce の標準ベースのツールを使って e-コマース環境を適合させたり、拡張することにより、ビジネスの差別化を図ったり、サイト運用開始後に発生する可能性のあるビジネス・チャンスや需要に迅速に対処できます。

クロス・チャネルの実装を可能に

消費者や企業バイヤーはいつでも利用できるという Web の特性に慣れ、テクノロジーに強い販売者が提供するサービスも経験済みです。そのため、このようなユーザーのロイヤルティを勝ち取るのは難しく、それを維持するのはさらに困難です。注文を取るためにオンライン・カタログを提供する程度ではもはや不十分で、顧客が Web サイト、従業員、チャネル・パートナーのいずれと対話する場合でも、便利で楽しく、しかも有益なユーザー体験を提供しなければなりません。顧客や取引先のための、柔軟で利便性が高く、シームレスな購入体験を生み出す能力は、今日のオンデマンド・ビジネスの世界には不可欠です。従業員、取引先、顧客に対して単一のアクセス・ポイントを確立することにより、タイムリーで正確な情報と一貫性のある、適切なサービスを提供できます。

WebSphere Commerce バージョン 6.0 は、お客様が共通のビジネス・サービス群をすべてのサービス・チャンネルと対話ポイントに拡張して、一貫性のある、適切な体験を顧客やパートナーに提供することを支援します。この製品には、お客様が設置済みの IT システムを利用して、完全に一体化したマルチチャンネルの販売ネットワークを構築するのに役立つ機能が含まれています。マルチチャンネル統合を実施することにより、顧客体験を改善し、クロス・チャンネルの販売プロセスの効率性と有効性を高めることができます。顧客が多彩なオプションを通じて取引を行えるようにすることで、ウォレット・シェアを最大化し、長期的なリレーションシップを構築できます。WebSphere Commerce には以下の機能が装備されています。

- **Sales Center for WebSphere Commerce** は、クロス・チャンネルの顧客へのサービス提供やアップセルに必要な機能をコンタクト・センター担当者に提供します。

- **Gift Center for WebSphere Commerce** は、小売業者向けの、総合的なマルチチャンネル・ギフト・レジストリー・ソリューションです。これは **Web 専用**のギフト・レジストリーとして運用できるほか、**既存のバックエンド・レジストリー・システムと統合したり、集中型のクロス・チャンネル・ソリューションとして単独で運用することもできます。**
- **クロス・チャンネルのオーダー処理機能**には、顧客、コンタクト・センター担当者、ギフト登録者、流通チャンネル・パートナーといったユーザーに効率的にサービスを提供する、クロス・チャンネルのビジネス・プロセスが準備されています。インターフェースには **POS、キオスク、エンタープライズ・リソース・プランニング (ERP)、フルフィルメントなどの外部システムを組み込むことができます。**
- **キオスクなどのインターフェースを使った店舗内オンライン・ショッピング、オンラインでの注文と店舗での受け取り、クロス・チャンネルでの返品および入手、オーダー・ステータスのチェック**といった、**その他のクロス・チャンネル・プロセスで充実した顧客体験を提供できます。**
- **ビジネス・インテリジェンスおよびマーケティング実験機能**によって、顧客やビジネスに関する理解を深めるのに役立つ洞察を得られます。
- **電子メール、契約、見積依頼 (RFQ) などのその他の機能**によって、一貫性のある、シームレスなクロス・チャンネルの販売プロセスが可能になります。

顧客、パートナー、従業員のエンパワメント

今日の消費者や企業バイヤーは、かつてないほどの量のブランド、製品、サービスなどについての情報にアクセスできるようになっています。常時利用可能な市場においては、ユーザーはワンクリックで競合他社に移動できるため、ブランド・ロイヤルティは無いに等しいと言っても過言ではありません。Web 慣れた顧客がショッピング体験に求めるレベルはますます上がり、顧客がサービスを提供する販売担当者よりも豊富な知識を備えていることも少なくありません。この非常に激しい競争環境の中で、企業は新しい顧客を引きつけ、何よりもその顧客をリピーターにする方法を見つけるのに躍起になっています。今、顧客体験こそが唯一の持続可能な差別化因子であるという事実が明らかになってきました。

WebSphere Commerce バージョン 6.0 は、顧客のセルフ・サービスを助ける充実した使いやすい機能と、従業員やパートナーが顧客によりよいサービスを提供するのを支援する、直感的に使える役割ベースのツールを提供して、お客様が満足感のある、他社とは一線を画した顧客体験を提供するのを支援します。これらのツールによってお客様は、ビジネス・ユーザーの生産性と効率性を改善させる一方、それらをサポートする IT リソースの時間、コスト、手間を減らすことができます。以下のような主要な機能が提供されています。

- **WebSphere Commerce** ビジネス・コンテキスト・エンジンは、すべての販売チャネルでお客様の統一されたイメージを表示することを可能にします。このコンポーネントは、すべての対話の背景にあるコンテキスト (購入履歴、好み、地域、契約内容など) を取り出して、きめ細かくパーソナライズされた、一貫性のある顧客体験を提供するのに役立ちます。
- ガイド付き販売機能は、自動的に販売支援と製品比較を行って、顧客を調査や意思決定プロセスでサポートします。
- ワークスペースを使用すると、ビジネス・ユーザーは製品情報、Web コンテンツ、プロモーション・ルール、キャンペーン情報などの作成、管理、公開を、IT 部門の支援なしにエンドツーエンドで管理できます。
- アタッチメントは、製品に関するファイル管理用の、生産性向上に役立つ使いやすいグラフィカル・インターフェースです。このインターフェースにより、ビジネス・ユーザーは画像、ユーザー・マニュアル、保証書、**Macromedia Flash** といったファイル・コンテンツを、ロード、管理、定義できます。
- 電子メール・テンプレート・エディターは、IT 部門の支援なしに電子メールのキャンペーン・プロセスを制御するために開発された、使いやすいインターフェースです。キャンペーン担当者はグラフィカル・インターフェースを使用して、電子メール・キャンペーンで使用するテキストや画像を作成してプレビューできます。
- **WebSphere Commerce** 拡張サイト機能を使用すると、異なるブランド、地域、ターゲットとする顧客グループ別にサービスを提供する独自のサイトを複数作成できます。これらのサイトはそれぞれ異なる外観を備え、その顧客関係に固有のビジネス・ルールやポリシー (特別料金や製品の利用資格など) を実装できます。また、これらの独自のサイトは同一のインフラストラクチャー上に共存させることができ、可能な限り多くのデータやビジネス・ロジックを共有して、運用や管理を省力化できます。さらに、拡張サイト機能を利用して、下流のチャネル・パートナーが使いやすい Web ベースのツールを使って、各社の e-コマース・サイトを作成・管理できるようにすることもできます。この場合、お客様はサイトの体裁やカタログの内容を管理したり、パートナーがサイトやカタログをカスタマイズするのを許可します。

安定した基盤上にシステムを構築

Web などの対話式のチャネル経由で取引を行う顧客が増え、その取引量も増加するに伴い、このようなチャネルの運用品質および信頼性の重要性はますます高まっています。不満のある顧客は簡単に競合他社に移動できるため、どのサイトもトラフィックの急増が生じても常に利用でき、ナビゲートしやすく、素早く処理が実行される環境を提供しなければなりません。同時に、突然生じるオポチュニティーや急速に変化する要件に対する即応性を維持しておく必要があります。

WebSphere Commerce バージョン

6.0 は、e-コマース・サイトとビジネス機能のデプロイメントを簡素化して、ソリューションと関連するインフラストラクチャーの実装、テスト、チューニング、統合に必要な時間を短縮するのに効果を発揮します。また、以下のような基盤としての優れた機能によって、お客様が、顧客が要求するパフォーマンス、連続的な可用性、セキュリティを提供することを可能にします。

- *B2C、B2B、各種マルチチャネル e-コマース実装を加速する、構成済みのビジネス・モデル、スターター・ストア、サンプル・コード*
- *複数サイト間で再利用可能な資産。オリジナルのサイトから設計、ビジネス・ロジック、コンテンツなどを再利用して、より多くの e-コマース・サイトを早くデプロイできます*

- *WebSphere アプリケーション・サーバー・プラットフォームのフル活用。高いスケーラビリティ、最適なサイトのパフォーマンスおよびワークロード管理、操作性を確保できます*
- *シンプルなクラスタリング。簡単にハードウェアおよびソフトウェアを構成・管理して、パフォーマンスと信頼性のレベルアップを図り、コストと複雑さを軽減できます*
- *標準ベースの開発環境。オープン・スタンダードの Eclipse テクノロジーをベースにし、数々の賞を受賞した WebSphere の統合チーム開発環境を利用・拡張できます*

詳細情報

WebSphere Commerce は基本的なオンライン・ストアから、キオスク、コール・センター、Web といった複数のタッチ・ポイントの統合、さらには完全自動、多層型のデマンド・チェーンに至る、多彩なオンデマンド・ビジネス施策のデプロイを可能にする、単一の統一プラットフォームです。WebSphere Commerce はあらゆる規模のお客様が、顧客が必要とするタイミングと場所で、希望する方法を使ってビジネスを行えるようにして、お客様のオンデマンド・ビジネスの目標達成を支援します。

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 オフファリング・ファミリーが e-コマース戦略の策定および推進にどのように役立つかの詳細については、IBM 担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/jp/software/websphere/com/

グローバル WebSphere コミュニティへの参加に興味のあるお客様は、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.websphere.org/>

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 の概要

稼働環境: IBM AIX®

ハードウェア要件

- IBM RS/6000® (44P Model 170 以降) または IBM *@server*® pSeries® 640
- 最初の WebSphere Commerce インスタンスに対して、プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
- プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
- 6 GB の空きディスク・スペース
- CD-ROM ドライブ
- TCP/IP をサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- AIX バージョン 5.2、保守レベル (ML) 05 以降
- AIX バージョン 5.3、ML 01 以降

稼働環境: Microsoft® Windows®

ハードウェア要件

- Intel® Pentium® III プロセッサ (733 MHz 以上)
- 最初の WebSphere Commerce インスタンスに対して、プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
- プログラム・ファイル用に 2 GB の空きディスク・スペース
- CD-ROM ドライブ
- TCP/IP をサポートする LAN アダプター
- グラフィックス対応モニター

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- Windows 2000 Server、Service Pack (SP) 4 以降
- Windows 2000 Advanced Server、SP4 以降
- Windows 2003 Server Enterprise Edition
- Windows 2003 Server Standard Edition

稼働環境: Sun Solaris

ハードウェア要件

- Sun UltraSPARC ステーション (Ultra 10 以降)
- 最初の WebSphere Commerce インスタンスに対して、プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
- 6 GB の空きディスク・スペース
- CD-ROM ドライブ
- TCP/IP をサポートする LAN アダプター
- グラフィックス対応モニター

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- Sun Solaris 9 オペレーティング環境、パッチ (2005 年 8 月)
 - Sun Solaris 10 オペレーティング環境、パッチ (2005 年 8 月)
-

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 の概要 (続き)

稼働環境: IBM OS/400® and IBM i5/OS®

ハードウェア要件

- OS/400 バージョン 5 リリース 3 または i5/OS バージョン 5 リリース 4 を実行でき、L2 キャッシュ付き、商用処理作業負荷 (CPW) が 950 以上のシステム
 - データベースなどのシステム機能を処理するための基本プールとして 2 GB の使用可能メモリー
 - WebSphere Commerce 本番インスタンスあたり 2 GB の使用可能メモリー
 - WebSphere Commerce テスト・インスタンスあたり 1.5 GB の使用可能メモリー
 - 12 GB の空きディスク・スペース
 - CD-ROM ドライブ
 - TCP/IP をサポートする LAN アダプター
 - グラフィックス対応モニター
-

ソフトウェア要件

OS/400 の場合

- 以下を含む OS/400 バージョン 5 リリース 3
 - IBM DB2® Universal Database™ for iSeries バージョン 5.3
 - IBM Host Server (オプション 12)
 - Digital Certificate Manager (オプション 34)
 - QShell Interpreter (オプション 30)
 - IBM WebSphere Portal Applications Solutions Environment (オプション 33)
 - IBM International components for Unicode (オプション 39)
- IBM Java Development Kit (JDK) バージョン 1.4 (オプション 6)
- IBM HTTP Server (powered by Apache)
- Crypto Access Provider 128 bit for IBM AS/400®
- IBM TCP/IP Connectivity Utilities for iSeries
- オプションのソフトウェア製品:
 - IBM @server iSeries™ クライアント・アクセス・ファミリー (オプション *Base および 1)
 - IBM DB2 Query Manager and IBM Structured Query Language (SQL) Development Kit for iSeries
 - IBM Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) Directory Services
 - Microsoft Internet Explorer V5.5 (WebSphere Commerce Administrator and Accelerator 用)

i5/OS の場合

- 以下を含む i5/OS バージョン 5 リリース 4 (5722SS1)
 - DB2 Universal Database for iSeries バージョン 5.4
 - DB2 Universal Database for iSeries Symmetric Multiprocessing (オプション 26)
 - DB2 Universal Database for iSeries MultiSystem (オプション 27)
 - Crypto Access Provider for iSeries (5722AC3 オプション *BASE)
 - Common Cryptographic Architecture (CCA) Cryptographic Service Processor (オプション 35)
 - Host Server (オプション 12)
 - Digital Certificate Manager (オプション 34)
 - QShell Interpreter (オプション 30)
 - WebSphere Portal Applications Solutions Environment (オプション 33)
 - International components for Unicode (オプション 39)
 - Extended Base Directory Support (オプション 3)
 - IBM JDK バージョン 1.4 (オプション 6)
 - IBM HTTP Server (powered by Apache) (5722DG1 オプション *BASE)
 - IBM TCP/IP Connectivity Utilities for iSeries (5722TC1 オプション *BASE)
 - IBM Toolbox for Java (5722JC1 オプション *BASE)
 - オプションのソフトウェア製品:
 - iSeries クライアント・アクセス・ファミリー (推奨)
 - DB2 Query Manager and SQL Development Kit for iSeries
 - LDAP ディレクトリー・サービス
 - Microsoft Internet Explorer V5.5 (WebSphere Commerce Administrator and Accelerator 用)
-

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 の概要 (続き)

稼働環境: Linux® on Intel

ハードウェア要件

- Intel Pentium III または互換性のあるプロセッサ (733 MHz 以上)
 - プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
 - 4 GB の空きディスク・スペース
 - プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
 - CD-ROM ドライブ
 - TCP/IP をサポートする LAN
 - グラフィックス対応モニター
-

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) AS 4 for Intel
 - RHEL AS/ES 3.0 Update 4 for Intel
 - SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 8 for Intel、SP4
 - SLES 9 for Intel、SP1
-

稼働環境: Linux on IBM System i™

ハードウェア要件

- iSeries モデル 270-2252 (CPW レーティング: 950) または iSeries モデル 820-2396 (CPW レーティング: 950)
 - プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
 - 4 GB の空きディスク・スペース
 - プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
 - CD-ROM ドライブ
 - TCP/IP をサポートする LAN アダプター
 - グラフィックス対応モニター
-

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- RHEL AS/ES 3.0 (Update 3 または 4 for iSeries) および pSeries (64 ビット・サポートのみ、WebSphere Commerce Enterprise のみ)
 - RHEL AS/ES 4.0
 - SLES 8 for iSeries および pSeries (64 ビット・サポートのみ、WebSphere Commerce Enterprise のみ)、SP4
 - SLES 9 for iSeries および pSeries (64 ビット・サポートのみ、WebSphere Commerce Enterprise のみ)、SP1
-

稼働環境: Linux on IBM System p™

ハードウェア要件

- RS/6000 (44P Model 170 以降) または pSeries 640 (プロセッサ: 375 MHz 以上)
 - プロセッサあたり 2 GB の使用可能メモリー
 - 4 GB の空きディスク・スペース
 - プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
 - CD-ROM ドライブ
 - TCP/IP をサポートする LAN アダプター
 - グラフィックス対応モニター
-

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- SLES 8 for pSeries (64 ビット・サポートのみ)、SP4
 - SLES 9 for pSeries (64 ビット・サポートのみ)、SP1
 - RHEL AS/ES 4.0
 - RHEL AS/ES 3.0 (Update 3 または 4)
-

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 の概要 (続き)

稼働環境: Linux on IBM System z™

ハードウェア要件

- System z プロセッサ
- 仮想マシン (VM) 構成の場合:
 - Linux インスタンス (ゲスト) あたり 1 GB の使用可能メモリー
 - Linux インスタンスあたり 2 GB のページング・スペース
 - 200 MB の Linux スワップ・ファイル・スペース
 - Linux システム用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 2 つ分の空きディスク・スペース
 - WebSphere Commerce および IBM WebSphere Application Server ソフトウェア用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 1 つ分の空きディスク・スペース
 - ワークステーションから System z システムに転送する WebSphere Commerce CD コンテンツ用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 1 つ分の一時空きディスク・スペース
- TCP/IP をサポートする LAN アダプター
- ネイティブの論理区画 (LPAR) 構成の場合:
 - Linux インスタンス (ゲスト) あたり 1 GB の使用可能メモリー
 - 200 MB の Linux スワップ・ファイル・スペース
 - Linux システム用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 2 つ分の空きディスク・スペース
 - DB2 Universal Database 用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 1 つ分の空きディスク・スペース
 - WebSphere Commerce および WebSphere Application Server ソフトウェア用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 1 つ分の空きディスク・スペース
 - ワークステーションから System z システムに転送する WebSphere Commerce CD コンテンツ用に、フルボリューム (3300 シリンダー) 1 つ分の一時空きディスク・スペース
- TCP/IP をサポートする LAN アダプター
- Windows、Linux、UNIX® のいずれかのマシンに接続したグラフィックス対応モニター
- CD-ROM ドライブ

ソフトウェア要件 (次のいずれか)

- SLES 8 for zSeries および S/390® (31 ビット・サポートのみ、WebSphere Commerce Enterprise のみ)、SP4
- SLES 9 for zSeries および S/390 (31 ビット・サポートのみ、WebSphere Commerce Enterprise のみ)、SP1
- RHEL AS/ES 3.0 Update 4 for zSeries および S/390 プロセッサ (WebSphere Commerce Enterprise のみ)
- RHEL AS/ES 4 for zSeries および S/390 プロセッサ (WebSphere Commerce Enterprise のみ)

パッケージ

WebSphere Commerce Professional バージョン 6.0 および WebSphere Commerce Enterprise バージョン 6.0 は CD-ROM メディアで出荷されるか、ダウンロード可能なファイルとして提供されます。

メディア・バックには以下が同梱されます。

- IBM WebSphere Commerce Quick Start バージョン 6.0
 - IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0
 - IBM WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 6.0.2.5
 - IBM WebSphere Application Server Edge Components バージョン 6.0.2.5
 - IBM WebSphere Application Server Directory Server バージョン 5.1 (AS/400 には適用されません)
 - IBM DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2.3 (AS/400 には適用されません)
 - IBM DB2 Information Integrator Replication Edition V8.2.3 for Windows
 - IBM DB2 Administrative Client バージョン 8.2.3
 - IBM WebSphere Commerce Analyzer for Windows バージョン 6.0
-

IBM WebSphere Commerce バージョン 6.0 の概要 (続き)

パッケージ (続き)

IBM WebSphere Commerce Developer Professional バージョン 6.0 および *IBM WebSphere Commerce Developer Enterprise* バージョン 6.0 は CD-ROM メディアで出荷されます。

メディア・パックには以下が同梱されます。

- IBM WebSphere Commerce Developer Quick Start バージョン 6.0
- IBM WebSphere Commerce Developer バージョン 6.0
- IBM Rational® Application Developer バージョン 6.0
- IBM WebSphere Commerce V6.0 for Windows
- IBM WebSphere Application Server Network Deployment V6.0.2.5 for Windows
- IBM DB2 Universal Database Enterprise Server Edition V8.2.3 for Windows
- IBM DB2 Administrative Client バージョン 8.2.3

IBM WebSphere Commerce - Express バージョン 6.0 は CD-ROM メディアで出荷されます。

メディア・パックには以下が同梱されます。

- IBM WebSphere Commerce Quick Start バージョン 6.0
- IBM WebSphere Commerce - Express バージョン 6.0
- IBM WebSphere Application Server Express バージョン 6.0.2.5
- IBM WebSphere Commerce Developer Express V6.0 for Windows
- IBM Rational Application Developer バージョン 6.0
- IBM DB2 Universal Database Express バージョン 8.2.3
- IBM DB2 Administrative Client バージョン 8.2.3
- IBM DB2 Connect™ Personal Edition V8.2.3 for Windows (iSeries 用)
- IBM WebSphere Commerce Analyzer for Windows バージョン 6.0

IBM WebSphere Commerce Developer Express バージョン 6.0 は CD-ROM メディアで出荷されます。

メディア・パックには以下が同梱されます。

- IBM WebSphere Commerce Developer Quick Start バージョン 6.0
- IBM WebSphere Commerce Developer Express V6.0.2.5 for Windows
- IBM Rational Application Developer バージョン 6.0
- IBM WebSphere Commerce - Express V6.0 for Windows
- IBM WebSphere Application Server V6.0.2.5 for Windows
- IBM DB2 Universal Database Express V8.2.3 for Windows
- IBM DB2 Administrative Client バージョン 8.2.3
- IBM WebSphere Commerce Analyzer for Windows バージョン 6.0

各オペレーティング環境用にパッケージされたソフトウェアの詳細については、WebSphere Commerce テクニカル・ライブラリーの Web サイト (ibm.com/software/commerce/library/) で、対応するインストール・ガイド (PDF 形式) をご覧ください。

WebSphere Commerce バージョン 6.0 でサポートされるオペレーティング・システムの最新の一覧については、ibm.com/software/genservers/commerce/servers/versions60.html をご覧ください。



© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan
2009 年 5 月
All Rights Reserved

AIX、AS/400、DB2、DB2 Connect、DB2 Universal Database、(e)Server、IBM、IBM ロゴ、i5/OS、iSeries、On Demand Business ロゴ、OS/400、pSeries、Rational、RS/6000、S/390、System i、System p、System z、WebSphere、および zSeries は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本番要件は Web サイトの作成や使用状況によって大きく変化しますお客様固有の要件を確定する際に支援を希望される場合は、担当の IBM 担当者にお問い合わせください。

* 「The State of Retailing Online」、Shop.org および Forrester Research、2005 年 5 月